

議会だより

No.231

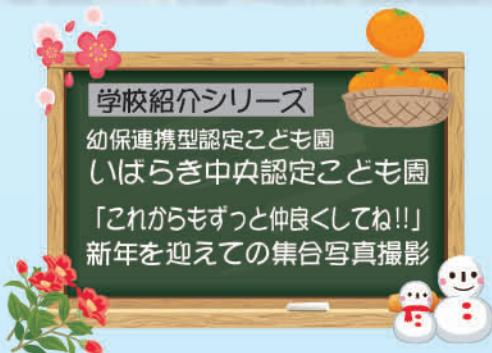
2024.2.15

発行 茨城町議会
編集 議会広報委員会

茨城町ホームページ <https://www.town.ibaraki.lg.jp/>



学校紹介シリーズ
幼保連携型認定こども園
いばらき中央認定こども園
「これからもずっと仲良くしてね!!」
新年を迎えての集合写真撮影



主な内容

議長 副議長 就任あいさつ	P2
新しい常任委員会の構成	P3
12月定例会のあらまし	P4~5
補正予算	P6
その他の委員会等構成	P7
一般質問	P8~11
議会活動報告・お知らせ	P12

12月定例会開催

新しい常任委員会構成が決まりました

委員長 **副委員長** **総務・経済建設常任委員会**

町長公室、総務部、会計課、消防本部、議会事務局、監査委員、選挙管理委員会、生活経済部、都市建設部及び農業委員会等の所管に関する事項、他の常任委員会の所管に属さない事項について審査・調査します。



大場 八千代
下石崎・2期



高安 将能
下飯沼・2期



寺門 早苗
若宮・1期



石川 祐一
海老沢・3期



海老澤 忠
奥谷・4期



久保田 良一
下土師・4期



田家 勇作
神谷・7期



澤 秀雄
小幡・9期

委員長 **副委員長** **教育民生常任委員会**

保健福祉部、教育委員会所管に関する事項について審査・調査します。



関 俊治
長岡・2期



美野田 龍敬
宮ヶ崎・2期



海老澤 正道
中石崎・1期



佃 敬子
大戸・1期



堀江 誠
常井・2期



岩松 律子
長岡・2期



根崎 敏夫
小鶴・2期



山面 正樹
宮ヶ崎・4期

委員長 **副委員長** **予算・決算常任委員会**

一般会計、特別会計及び企業会計の予算・決算について審査・調査します。

委員長 久保田 良一
副委員長 美野田 龍敬

海老澤 正道 寺門 早苗 佃 敬子 堀江 誠 関 俊治
高安 将能 岩松 律子 大場 八千代 根崎 敏夫 石川 祐一
海老澤 忠 田家 勇作 澤 秀雄

「常任委員会」とは…

町の仕事は非常に幅広く複雑なため、本会議ですべての議案をきめ細かく審議することは効率的ではないので、いくつかの専門的な委員会に分かれて、議案や請願、陳情などの審査を行います。

～茨城町議会の新体制が決定～

議長に 山面 正樹 議員
副議長に 石川 祐一 議員 を選出

令和5年第4回定例会は、12月21日から27日までの7日間の会期で開かれました。開会初日は、正副議長の選挙が行われました。議長には、2名の議員が立候補し、投票の結果、第39代議長に山面 正樹議員が当選、副議長には、指名推選により全会一致で、石川 祐一議員が当選し、それぞれ新たに就任しました。その後、議案の専門的な審査を行うための常任委員会の委員、議会運営を円滑に進めていくための議会運営委員会の委員などを選任し、議会の新体制が決定しました。

町民の期待に応えられるように、執行部と一丸となって運営に取り組みます。

議長就任のごあいさつ

茨城町議会議長 山面 正樹

このたび、議員の皆様のご推挙をいただき、輝かしい歴史と伝統を誇る茨城町議会の第39代議長の重責を担わせていただくことになり、改めて身の引き締まる思いでございます。

さて、町政を取り巻く環境は、加速する高齢化への対応や子育て支援、地域防災力の強化などの課題も多く、非常に慎重な判断が必要とされる局面を迎えています。こうした中、二代表制の下、町政の意思決定と監視機能を担う町議会の役割はますます大きくなってまいります。本町の更なる発展と町民福祉の向上のため、課題解決に向けて議論を尽くし、しっかりと町政に反映させていくことで、町民の皆様の負託に応えてまいりたいと思います。

今後とも、町議会の持てる力を十分に発揮できるよう、皆様のご格別なる御支援と御協力をお願い申し上げます。就任の御挨拶とさせていただきます。



議長 山面 正樹

【役職経歴】
副議長(令和元年12月～5年12月)

将来を見据え町民の声を町政に反映できるよう努めます。

副議長就任のごあいさつ

茨城町議会副議長 石川 祐一

このたび、議員各位のご賛同を得て、副議長に就任することとなりました。副議長という大任を押し、職責の重大さを痛感しております。

さて、新型コロナウイルス感染症の5類移行により、社会経済は正常化に向けて歩みはじめたところですが、混迷する国際社会、物価上昇、資源高の影響もあり、町民の皆様のご生活は未だ回復途上にあると考えております。また、少子高齢化、人口減少社会の進行により、住民ニーズや地域課題は今後さらに多様化・複雑化することが推察されます。こうした中、地域の多様な民意を集約し、地域社会のあり方を議論する「議会」の役割は、より重要となっております。将来を見据え、町民の皆様のご声を政策に反映できるよう努めてまいりますので、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



副議長 石川 祐一

【役職経歴】
総務・経済建設常任委員会委員長(令和3年12月～5年12月)

物価高騰への対策は万全か?

「物価高騰対策給付金事業費」

寄附金増に伴う「ふるさと寄附金関係経費」の増額

転居時の家賃支援を盛り込む

「犯罪被害者等支援条例の制定」

等を含む補正予算

など17議案を可決

令和5年
第4回定例会
12/21~12/27

可決された議案

議案第63号
茨城県中央環境衛生組合の設立について

令和6年4月1日から、笠間市及び茨城町の2市町により、し尿処理施設の設置に関する事務を共同処理するため、新たな一部事務組合である茨城県中央環境衛生組合を設立。

【全員賛成】

議案第64号
茨城町桜の郷コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例の制定について

桜の郷コミュニティセンターを、町民の交流と桜の郷地域におけるコミュニティの活性化を図る活動拠点として活用するため、施設の設置及び管理に係る所要の規定を整備。

【全員賛成】

議案第65号
茨城町犯罪被害者等支援条例の制定について

町が行う犯罪被害者等の支援に

議案第67号
茨城町国民健康保険条例の一部を改正する条例について

・出産予定又は出産した国民健康保険被保険者の国民健康保険税について、出産予定月の前月から4か月間(多胎妊娠の場合は、出産予定月の3か月前から6か月間)に係る所得割額と均等割額を減額

【全員賛成】

議案第68号
茨城町手数料条例の一部を改正する条例について

戸籍法の一部改正により、本籍地以外の市区町村窓口での戸籍等の取得や行政機関での戸籍関係書類の省略を目的とした戸籍電子証明書提供用識別符号の発行が可能となることから、所要の規定を整備。
〔手数料〕
○広域交付に係る手数料は、戸籍謄本等の交付手数料と同額(1通につき戸籍は450円、除籍は750円)
○電子証明書提供用識別符号に係る発行手数料(新設手数料)
・戸籍電子証明書提供用識別符号の発行 1件につき400円
・除籍電子証明書提供用識別符号の発行 1件につき700円

施行期日 令和6年3月1日
【全員賛成】

令和5年第4回定例会は、12月21日から27日までの7日間で開催されました。

25日は、町長より、条例の制定、補正予算などを含む17議案について提案理由の説明がありました。

続いて、一般質問が行われ、6人の議員が発壇し、町政全般について、町長より追加提出された人事案件1件について審議が行われ、原案のとおり可決、陳情1件を継続審査としました。

可決された議案

議案第69号
茨城町土地改良事業の経費の賦課徴収に関する条例の一部を改正する条例について

・土地改良事業に要する経費について、当該事業の施行に係る地区内にある土地の所有者及び耕作者等に対する賦課徴収に代え、土地改良区から相当額を徴収することができるよう所要の規定を整備。

【全員賛成】

議案第70号
字(あざ)の区域の変更について

・国営緊急農地再編整備事業「茨城中部地区」の下石崎地区内の字(あざ)の区域の変更。

【全員賛成】

議案第71号
土地改良事業の施行について

・事業名 基幹水利施設管理事業
・地区名 那珂川沿岸地区
・事業概要 国営那珂川沿岸農業水利事業で造成した基幹水利施設の管理

【全員賛成】

議案第72号
町道路線の認定について

・主要地方道大洗友部線バイパス工事に伴う旧道部移管路線(2640号線 2641号線)の認定(小鶴野曾)。

【全員賛成】

議案第73号
主要地方道内原塩崎線バイパス工事に伴う旧道部移管路線(1579号線)の認定(長岡)。

【全員賛成】

件をそれぞれ所管の常任委員会に付託しました。27日の最終日には、各常任委員会委員長より付託された案件の審査結果の報告があり、採決の結果、全議案を全会一致で、原案のとおり可決、陳情1件を継続審査としました。

続いて、町長より追加提出された人事案件1件について審議が行われ、原案のとおり同意し、全日程を終了しました。

係る基本理念及び施策の基本的事項を定め、犯罪被害者等の支援を総合的かつ計画的に推進し、犯罪被害者等の権利利益の保護を図り、町民等が安心して暮らすことができる社会の実現に寄与することを目的として、所要の規定を整備。

【全員賛成】

議案第66号
茨城町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について

・※人事院勧告及び特別職の職員の給与に関する法律の一部改正を踏まえ、関係条例の所要の規定を整備。

【全員賛成】

答弁
犯罪被害者等の視点に立った支援の調査・研究を進めていく

※議会だより226号11頁より

質問
犯罪被害者支援を明確化し、早期の条例制定を

美野田 龍敬議員

〈一般質問を振り返る〉
令和4年9月定例会
犯罪被害者等支援条例の制定を問う一般質問

【全員賛成】

議案第80号
茨城町監査委員の選任につき同意を求めることについて

・道路敷寄りに伴い新たに作られた路線(4641号線)の認定(宮ケ崎)。

【全員賛成】

人事案件

【全員賛成】

・議会は、茨城町監査委員の選任に同意いたしました。
氏名 田家 勇作 議員(神谷)

【全員賛成】

※監査委員とは…
町長から独立した立場で、町の財務に関する事務の執行などが法令等に基づいて適正に行われているか、また、予算の執行が計画的かつ効率的に行われているかチェックをする仕事をしています。

請願・陳情の審査結果
継続審査となったもの
陳情第4号
年金制度における外国人への脱退一時金の是正を求める意見書の採択を求める陳情

【全員賛成】

審議未了となったもの
請願第2号
道路の改修工事に関する請願

【全員賛成】

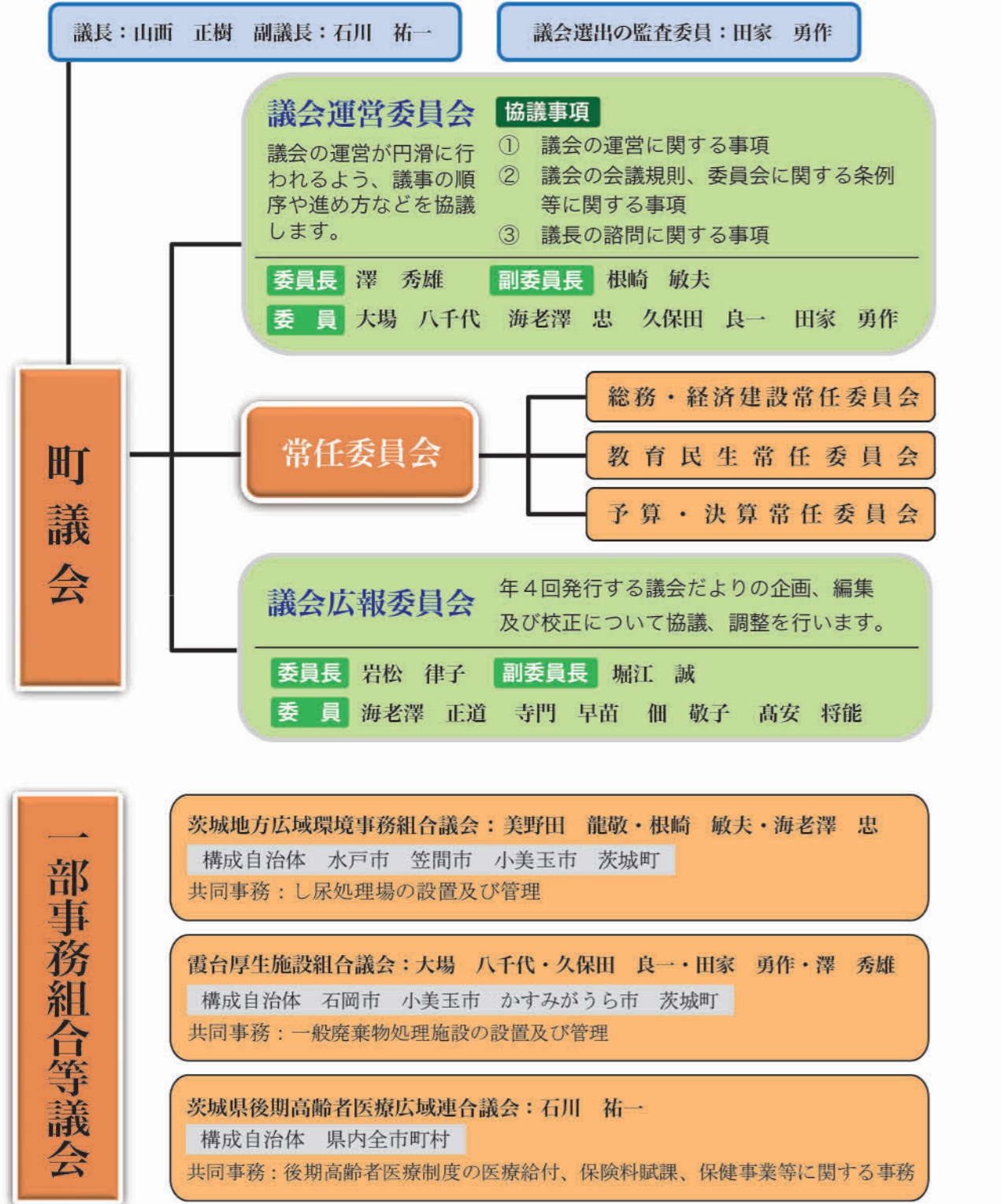
陳情第3号
教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める陳情

【全員賛成】

陳情第3号
教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める陳情

【全員賛成】

その他の委員会等構成も決定しました



一部事務組合は、複数の普通公共団体が行政事務の一部を共同で行うことを目的として設置する組織です。広域連合は、多様化した広域行政需要に効率的に対応するとともに、国からの権限移譲の受け入れ体制を整備する目的で設置する組織です。いずれの組織にも議会が設置されており、議員は構成自治体の議会から選出されています。

補正予算

補正予算は、当初予算に組み込むことができなかったもの、その後必要が生じた事項で早急な予算措置が必要なものについて計上しています。一般会計では、歳入は、国庫支出金及び繰入金などを増額、歳出は、民生費及び総務費などの増額により、4億2842万5千円を追加し、補正後の予算総額は、歳入歳出それぞれ138億577万9千円(対前年同期比▲0.63%)としました。

可決された令和5年度補正予算

- 議案第73号 令和5年度茨城町一般会計補正予算(第5号)【全員賛成】
- 議案第74号 令和5年度茨城町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)【全員賛成】
(主な内容：人事院勧告による職員給与費の増額 システム改修費)
- 議案第75号 令和5年度茨城町後期高齢者医療保険特別会計補正予算(第2号)【全員賛成】
(主な内容：人事院勧告による職員給与費の増額)
- 議案第76号 令和5年度茨城町介護保険特別会計補正予算(第2号)【全員賛成】
(主な内容：人事院勧告による職員給与費の増額)
- 議案第77号 令和5年度茨城町農業集落排水事業会計補正予算(第2号)【全員賛成】
(主な内容：人事院勧告による職員給与費の増額)
- 議案第78号 令和5年度茨城町公共下水道事業会計補正予算(第2号)【全員賛成】
(主な内容：人事院勧告による職員給与費の増額)
- 議案第79号 令和5年度茨城町水道事業会計補正予算(第3号)【全員賛成】
(主な内容：建設改良費の増額 人事院勧告による職員給与費の増額)

会計名	補正前の額	補正額	補正後の額
一般会計	133億7735万4千円	4億2842万5千円	138億577万9千円
国民健康保険特別会計	37億8949万4千円	100万4千円	37億9049万8千円
後期高齢者医療保険特別会計	4億6924万円	29万7千円	4億6953万7千円
介護保険特別会計	37億606万3千円	103万4千円	37億709万7千円
農業集落排水事業会計	3億3593万6千円	22万9千円	3億3616万5千円
公共下水道事業会計	7億711万5千円	105万5千円	7億817万円
水道事業会計	7億8174万8千円	85万8千円	7億8260万6千円
	8億4669万9千円	5814万6千円	9億484万5千円

一般会計補正予算の主な内容

歳入	補正額
国庫支出金(物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 自立支援給付費負担金)	2億2299万2千円
寄附金(ふるさと寄附金)	5000万円
繰入金(財政調整基金繰入金)	1億351万7千円
歳出	補正額
ふるさと寄附金関係経費 (ふるさと寄附金の寄附見込額増に伴い、積立金及び事務費の増額)	8213万7千円
物価高騰対策給付金事業費 (物価高騰により影響を受けている住民税非課税世帯に対し、2月下旬に1世帯あたり7万円を給付)	2億2269万8千円
自立支援給付事業費 (障害者、障害児を対象とした各種サービス給付費の増額)	7700万円

債務負担行為補正

事項	期間	限度額
(仮称)新たな文化的施設建設工事 (文化的施設整備本体工事を円滑に行うための適正な工期を確保するため、債務負担行為を設定)	令和5年度から令和7年度まで	3,100,000千円
明光中スクールバス運行业務委託 (下石崎地区から明光中学校への令和6年4月からのスクールバス運行開始を円滑に行うための準備期間も含めた委託期間を確保するため、債務負担行為を設定)	令和5年度から令和10年度まで	44,748千円

※債務負担行為とは…
複数年に渡る契約や後年度の支出が確実なものを、期間・内容・限度額などを決めておいて、将来支出する行為。予算として設定されているが、その時点での歳出が確定されていないため、歳出予算には含まれません。現実に現金支出が必要になった場合は、あらためて歳出予算に計上(現年度化)しなければなりません。

問 産後のヘルプサポートの現状と訪問型のヘルプの導入について

答 産後の生活において、体調や子育てなどに不安があり、身近な方のサポートが得られない親子を対象に、宿泊や通所ができる近隣の病院6箇所と委託契約を結び、利用が可能となっている。出産時に各病院において案内しているが、毎年利用者は少ない状況にある。このため、健康増進課内の子育て世代包括支援センター「こきら」では、「乳児家庭全戸訪問」や定期的に「育児相談」等を実施しており、心身の不調や育児面での不安悩みなどから、家事や食事の準備をはじめ、後片付けが出来ない産婦に対し、訪問サービスが受けられるように民間のサポート機関の案内をしている。訪問型のヘルプの導入については、子どもを安心して生み育てることができる環境づくりのため、他市町村の取組事例を参考に調査・研究していく。

問 産後のヘルプサポートの現状と訪問型のヘルプの導入について

答 産後の生活において、体調や子育てなどに不安があり、身近な方のサポートが得られない親子を対象に、宿泊や通所ができる近隣の病院6箇所と委託契約を結び、利用が可能となっている。出産時に各病院において案内しているが、毎年利用者は少ない状況にある。このため、健康増進課内の子育て世代包括支援センター「こきら」では、「乳児家庭全戸訪問」や定期的に「育児相談」等を実施しており、心身の不調や育児面での不安悩みなどから、家事や食事の準備をはじめ、後片付けが出来ない産婦に対し、訪問サービスが受けられるように民間のサポート機関の案内をしている。訪問型のヘルプの導入については、子どもを安心して生み育てることができる環境づくりのため、他市町村の取組事例を参考に調査・研究していく。

問 産後支援として訪問型ヘルプの導入により子育てしやすい町づくりを

答 他市町村の取組事例を参考に調査・研究していく

一般質問



佃 敬子 議員

問 県の公表した東海村の日本原子力発電所第二原発発生時に、放射性物質がどのように拡散するかを示す予測結果を受け、避難計画の策定を今後どのように進めていくのか。

答 茨城県では、11月28日、東海第二発電所における「30km周辺まで避難・一時移転の対象となる区域が生じ、かつその区域が最大と想定した、放射性物質の拡散シ

問 東海第二原発の広域避難計画の策定を今後どのように進めていくのか

答 県と連携を図りながら、実効性のある広域避難計画の策定に努めていく



問 子育て世代の、おむつなどの購入費補助の検討を

答 昨年度から、妊娠届出をされた妊婦や出生届出をされた子育て世帯に対し、出産・育児関連用品の購入費助成として、それぞれ5万円を給付しているため、今後の検討課題とさせていただきます。



ミュレーションの結果を公表した。この拡散シミュレーションについては、事故による安全対策設備の機能状況や気象条件の設定次第で変化し得るものであります。県では、今回の拡散シミュレーション結果を活用し、避難時の移動手段や資機材の確保など、東海第二発電所から30km圏内全体の広域避難計画の実効性の検証に取り組んでいくこととしている。本町においては、今回の拡散シミュレーションの結果では、すべての条件で避難や一時移転の対象となる区域はなかった。しかし、本町は、国の防災基本計画及び原子力災害対策重点区域内に位置することから、全町民を対象とした広域避難計画を策定する必要がある。計画策定に当たっては、当初、避難先を潮来市と神栖市としていたが、避難所の一人当たりの面積が目安が2㎡から3㎡とする方針に見直されたことから、新たな避難先の確保について、現在、県と協議を進めているところである。今後、町民の安全確保が最優先であるとの考えのもと、引き続き、県と連携を図りながら、実効性のある広域避難計画の策定に努めていく。

問 図書館利用促進に、ICTを活用した図書館運営について見解を伺う。

答 現在の町立図書館は、平成8年11月の開館当初から、図書館システムを導入し、定期的な更新を行っているが、業務効率化と利用者への利便性向上に努めてきたところである。本町の図書館は、令和4年度末で図書13万5千114点、ビデオDVDなど4千491点を有し、令和4年度は10万9千74点を貸し出しするなど、多くの方に利用されている。ICTを導入した公立図書館では、蔵書整理などの業務効率化が進み、また非対面の貸し出しなど利用者のサービス向上につながったという事例も増えているが、導入には相当な経費が見込まれる。導入した場合は田園都市国家構想交付金など財源の確保について、調査・研究していく。

問 図書館利用促進に、ICTを活用した図書館運営について見解を伺う。

答 現在の町立図書館は、平成8年11月の開館当初から、図書館システムを導入し、定期的な更新を行っているが、業務効率化と利用者への利便性向上に努めてきたところである。本町の図書館は、令和4年度末で図書13万5千114点、ビデオDVDなど4千491点を有し、令和4年度は10万9千74点を貸し出しするなど、多くの方に利用されている。ICTを導入した公立図書館では、蔵書整理などの業務効率化が進み、また非対面の貸し出しなど利用者のサービス向上につながったという事例も増えているが、導入には相当な経費が見込まれる。導入した場合は田園都市国家構想交付金など財源の確保について、調査・研究していく。

問 ICTを活用した図書館運営を

答 導入後の効果検証、交付金などの財源確保について、調査・研究していく

一般質問



堀江 誠 議員

一般質問

町政を質す！



12月定例会では6人の議員が登壇し、さまざまな視点から町政を質しました。議会だよりでは、質問と答弁の要旨をお伝えしています。全文記録（会議録）は3月上旬に町ホームページに掲載予定です。

※ QRコードを読み取ると、各議員の一般質問へ接続できます。



佃 敬子 議員
◇妊娠・出産から切れ目のない子育て支援を
◇東海第二原発について



堀江 誠 議員
◇図書館の利用促進の施策について



根崎 敏夫 議員
◇移住者支援制度について
◇小幡北山植輪製作遺跡について



海老澤 忠 議員
◇野犬対策について



美野田 龍 敬 議員
◇学校跡地の利活用について
◇子育て支援について



岩松 律子 議員
◇町運動公園ナイター施設利用を通年に

一般質問とは・・・
一般質問とは、各議員が住民の代表として、町の一般事務に対してその執行の状況又は将来の方針、政策的提言や行政の課題などを執行者に直接質すことです。また、執行者の所見や施策について報告を求め、問い質すこともあります。質問の範囲は、町の行財政全般のほか、地域で住民生活に密着している事項など多岐にわたっています。



根崎 敏夫 議員

一般質問

問 定住目的の移住者を支援する支援制度の策定を

他市町村の支援制度を参考に、効果的な移住支援策を前向きに検討

現在までの「就業者移住支援制度」の支援状況、広報周知状況及び実績、また支援利用を促進するため、移住者の増加につなげていくための支援体制の強化をどのように行っているのか伺う。

「就業者移住支援制度」は、喫緊の課題である人口減少と地場産業の活力低下への対策や茨城中央工業団地内に企業の進出が見込まれることなどから、町内で就業する方の移住促進を図ることを目的に、本年度より、町独自の移住者支援策として開始した制度である。

本制度は、町内の事業所で就業している方や起業・就農している方などが、町外から移住する場合、単身世帯に対し10万円、家族世帯に対し20万円の移住支援金を交付するものである。これまでの取組みとして、町広報紙やホームページ、公式ライン等で周知を図ると

ともに、工業団地内の各事業所を訪問し、制度説明を行った。また、町外からの移住者に制度を漏れなく周知するため、転入手続きの際に、制度の案内やチラシの配布を行うとともに、希望者には、定住コンシェルジュによる移住相談を行っている。

現在、支援金を交付した件数は、家族世帯の3件であるが、本制度は、町内就業者が、町外から移住する場合に、大変有利な制度であることから、今後も、各種媒体を活用し、広く制度の周知徹底に努め、移住の促進に取り組んでいく。

「就業者移住支援制度」は、持ち家のほか賃貸も対象となる制度であるが、町内での就業を要件としており、町外への就業は、本制度の対象外となっている。しかしながら、町外就業者であっても、家を新築するなど定住目的の移住者への支援は、定住・移住施策として有効であると考えられるため、他市町村の支援制度を参考に、より効果的な移住支援策を前向きに検討し、定住・移住の促進に努めていく。



問 小幡北山埴輪製作遺跡の位置づけについて

貴重な歴史文化遺産であり、更なる魅力向上に努める

国指定史跡の小幡北山埴輪製作遺跡の施設活用状況、維持管理状況について。また、どのような位置づけと考えているのか伺う。

国内最大級の埴輪製作遺跡であり、文化財保護と自然環境の保存を図るとともに、地域学習、余暇の充実等の利用に供するため、修景工事のほか、窯跡のレプリカを始め、駐車場、園路、トイレなどの整備を行い、平成5年度に開園した。平成29年度に新たな看板を設置、令和元年度には入口付近の樹木伐採を行い、視認性の向上を図った。また、植栽管理を外部委託し良好な景観を保っている。施設の活用状況は、令和4年度には町民教養講座において、小学生親子を対象に、遺跡見学と公園内の花壇整備を実施、郷土の歴史を知る機会や愛着心の醸成に努めた。小幡北山埴輪製作遺跡は、貴重な歴史文化遺産として認識しており、令和4年度に購入した公園隣接地の有効活用を図るなど、さらなる魅力向上に努める。



国指定史跡 小幡北山埴輪製作遺跡



海老澤 忠 議員

一般質問

問 今後の野犬対策について

県動物指導センターや地域住民との連携に努め、更なる野犬対策に取り組む

これまでの野犬に対する取組みと今後の対策について

これまでの取組みは、野犬の捕獲・保護収容業務を所管する県動物指導センターと情報共有を図り、野犬が多い地域の実態把握に努め、地域住民に、回覧による注意喚起と捕獲器設置の協力をお願いしてきた。また、全小中学校の児童生徒並びに保護者には、学校を介した、斉ミー等による注意喚起を行ってきた。こうした取組みの成果もあり、着実に捕獲器の設置箇所数は増加している。また、野犬を増やさないため、町の狂犬病予防接種の際、飼い主に対して適正飼養の周知を図るとともに、本年10月からSNSを活用し、本町より県動物指導センターへ収容された保護犬情報を発信することで、飼い主への早期返還と新たな飼い主への譲渡促進に努めている。今後も、他市町村の取組事例を参考に、町民の安全安心な生活の維持と、動物愛護の観点から県動物指導センターや地域住民との連携に努め、更なる野犬対策に取り組んでいく。



美野田 龍敬 議員

一般質問

問 今後の学校跡地活用について

活用計画や財政状況を踏まえ、解体・撤去を含め、活用方策を検討していく

平成29年2月に策定された「茨城町学校跡地活用計画」について、これまで検討されてきた内容と現在の利用状況、そして今後のスケジュールについて伺う。

小中学校の学校再編により、閉校となった学校跡地の利活用については、平成29年2月策定の「茨城町学校跡地活用計画」により、利活用を図っている。現在の利活用状況は、旧駒場小学校校舎は、「駒場庁舎」として利活用しており、旧川根小学校校舎は、解体撤去を行い、新たに学校給食共同調理場を整備した。旧沼前小学校は、「グラウンドを全面芝生化し、「フォレストめまきグラウンド」の名称で、主に少年サッカー場として利活用している。

また、学校跡地の体育館は、災害時には指定避難所として使用し、平時はスポーツ団体等へ施設開放を行っている。なお、旧駒場小学校及び旧川根小学校以外の



岩松 律子 議員

一般質問

問 町運動公園のナイター施設を周年利用に

町内の小中学生を限定に、冬期間のナイター利用を調整していく

町運動公園のナイター施設の周年利用について要望する。

冬期間のナイター需要があることは認識しているが、令和4年7月以降の物価高の影響により電気料金が高騰したため、利用者の意向調査をすることなく、冬期間におけるナイター利用を見送ったところである。

来年度からのナイター施設の周年利用については、現在は国の「電気・ガス価格激変緩和対策事業」の補助金により、電気料金が抑えられているが、令和6年5月には補助金が打ち切られる見込みである。電気料金が再び高騰することや予想されている。しかし、小中学生が町外のテニスコートを利用しているという実情を踏まえ、町内の小中学生を限定に冬期間のナイター利用ができるよう調整していく。一般の方の利用については、電気料高騰が落ち着いた後、意向調査の結果を踏まえ検討していく。



能登半島地震の被災者支援 義援金16万円寄付

1月19日、茨城町議会は、1月1日に発生した能登半島地震の被災者支援に役立ててもらおうと、義援金16万円を茨城新聞文化福祉事業団に寄託しました。

山面 正樹議長が被災者や復興支援のための義援金寄付を呼びかけ、町議全員が賛同しました。山面議長は、「多くの尊い命と貴重な財産が奪われましたことは、計り知れない悲しみと困難をもたらし、かつて同じく東日本大震災を経験した者として、ご心痛をお察し申し上げます。被災地では、相次ぐ余震と寒さの中、不安が募る状況が続いておりますが、皆さまの安全と、一日も早い復興をお祈りしております。」と話しました。

町道120号線交通安全祈願式

1月19日、町道120号線交通安全祈願式が開催され、町議会からは山面正樹議長を始め15人の議員が出席し開通を祝いました。開通したのは、中石崎地区から潤沼自然公園に至る約1.4kmの区間で、今後、潤沼周辺へのアクセス向上や災害時の緊急輸送道路の強化などが期待されます。



祝辞を述べる山面議長



テープカットの様子



交通安全祈願の様子

令和6年 第1回議会定例会 のお知らせ

令和6年3月7日(木)開会を予定しております。

◆会期日程・一般質問の内容等、詳細につきましては、町ホームページにて、ご案内いたします。
◇茨城町公式ホームページ(議会のページ)
<https://www.town.ibaraki.lg.jp/gyousei/gikai/index.html>

本会議をライブ配信で!



行政視察受入報告

○埼玉県 入間郡 毛呂山町議会

訪問日: 令和5年10月12日(木)

内 容: 「農地集積加速化事業の取り組みについて」

受入人数: 18人

○栃木県 下都賀郡 野木町議会

訪問日: 令和5年10月24日(火)

内 容: 「学校部活動の地域移行について」

受入人数: 9人

○福島県 田村郡 三春町議会

訪問日: 令和6年1月18日(木)

内 容: 『茨城町デマンド型乗合タクシー「ひぬま〜」について』

受入人数: 20人

議員出席状況

12月定例会(委員会を除く)

12月21日 全員出席
12月25日 15名出席
27日 全員出席

傍聴者数

12月定例会 39名

傍聴ありがとうございました。

広報委員が新しく選任されました



委員長 岩江 松
副委員長 堀老 正
委員 寺門 早
委員 高安 将
委員 高安 能

最後まで議会だよりをお読みいただきありがとうございます。
本号が、新体制で初めての編集・発行となります。議会の情報をわかりやすくお伝えできるやうに読みやすく、親しみやすい紙づくりを心がけてまいります。町民の皆様のご意見をぜひお寄せください。
【ご連絡先】
茨城町議会事務局
電話 029-240-7193 (直通)
FAX 029-303-7713
メールアドレス i-gikai@town.ibaraki.lg.jp